

東区自治協議会 まちづくりワークショップ区ビジョン点検シート

【1】 区の将来像

暮らしと産業の調和を活かした、世界と共生するまち

【2】 区の担う役割

- 都心に近接する地理的条件を活かした快適な居住地としての役割を担います。
- 空港と港湾を有する区として、国内各地や海外とのネットワークの拠点となる機能を担います。
- 大規模な重工業から軽工業まで大小ある工場により、市内製造業の拠点としての機能を担います。

【3】 目指す区の姿

- 安心・快適で利便性の高いまち
- 産業が振興するまち
- 水と親しみ豊かな自然につつまれるまち
- 空と海の玄関口のまち

【4】 まちづくりに向けた施策の方向

- I 安心していきいき暮らす環境の整備
- II 交通網の整備
- III 親しめる水辺などの整備と活用
- IV 国内外に向けた交通基盤の整備
- V 遊休地の有効活用

【5】 これまでの取り組みの検証結果（成果・課題）

別紙のとおり

これまでの取り組みの検証結果(成果・課題)

施策の方向	これまでの取り組み	成果・課題
I 安心していきいき暮らす環境の整備		
<p>1 安心とやさしさの環境づくり</p> <p>区民が行政と共に考え、行動することにより、積極的に地域の環境づくりや防犯・防災に努めていきます。</p> <p>子育て支援や高齢者の生きがいづくりなどを進め、助け合い支え合う地域づくりを推進します。</p>	<p>◆防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児や小学生及び高齢者に対する交通安全教室を開催した。 ・各コミ協が実施する地域安全マップづくりを支援し、マップコンテストを実施した。 <p>◆防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の整備・強化を図るため、防災訓練に係る経費の助成やより実践的な訓練を促進した。 ・津波から身を守るためのひな地図を作成した。(山の下・桃山・大形の3地区において作成を完了) <p>◆子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援施設(わいわいひろば)を開設・運営した。 ・親子ふれあい広場(0歳児を持つ親子が集う場)の開催や子育て応援ガイドブックを作成した。 <p>◆高齢者にやさしい地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生・児童委員や企業等の連携による独居高齢者の見守りを行った。 ・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域包括ケアシステムを推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故発生件数が減少した。 ・子どもが犯罪に遭わないための行動・意識が醸成されるとともに、地域で子どもを見守る意識が向上した。 <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の結成率が向上した。 ・防災訓練のマンネリ化 ・若年層などの人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・親子の孤立や子育ての不安解消の一助となっている。 ・継続した子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動を拡充することで、より多くの独居高齢者の安全を守ることができるようになった。 ・地域包括ケアシステムにおける在宅医療や生活支援の意識を高めることができた。 ・行政や社会福祉協議会及び地域住民などが連携した生活支援の体制整備
<p>2 個性ある地域文化づくり</p> <p>地域に伝わる歴史・文化を認識し、継承していくとともに、心の豊かさを育み、地域の活力につながる文化活動を振興していきます。</p>	<p>区の歴史や文化を活かした淳足探索プロジェクトや区民ふれあい祭りなど、様々なイベントを通じて地域の誇りづくりに取り組んだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区の魅力を区民と共有し、区の一体感醸成を図ることができた。 ・継続した区民への周知
<p>3 体育施設の整備</p> <p>体育施設の整備や学校などの活用により、市民がスポーツをする機会を増やし、心身の健康と生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。</p>	<p>平成20年度に屋内プールやトレーニング機能を備えた下山スポーツセンターを整備した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた健康づくりに取り組む区民が増加した。
II 交通網の整備		
<p>1 幹線道路などの整備</p> <p>幹線道路の整備や、区役所などの公共施設を利用しやすい公共交通網を整備することで、住民の交通利便性を高めるとともに、ヒト・モノの交流の拡大を図ります。</p>	<p>◆幹線道路の渋滞への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号機の時差調整や交差点改良の調査を行った。 ・赤道の渋滞を緩和するため、逢谷内インターチェンジを設置するとともに、(仮称)新潟東スマートインターチェンジの整備に着手した。 <p>◆公共交通の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性向上のため、事業者への働きかけや関係機関との意見交換を行った。 ・路線バスが乗り入れ可能な大形駅北口、越後石山駅西口広場の整備に着手した。 ・区バスの利用促進のため、運行ルートやダイヤの改善を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の効果が得られ、住民の交通利便性が高まった。 ・関係機関や地権者との合意形成 ・区バスは区役所への交通手段としてのみならず、通院・通学者の交通手段としての役割を果たしている。 ・駅前広場整備事業の着実な推進 ・交通結節点やJR駅乗り入れ等を視野に入れたバス路線再編の検討
III 親しめる水辺などの整備と活用		
<p>1 自然を活かした緑地・公園の整備</p> <p>通船川の親水護岸整備や栗ノ木川も含めた河川緑地の環境整備など、自然環境を活かした憩いの空間を形成します。</p>	<p>◆水辺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通船川の自然を活かした護岸整備や緑地・散策路の整備を進めるとともに、かわせみ橋の架橋に着手した。 <p>◆公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存公園の施設の充実を図るとともに、寺山公園の整備に着手した。 ・区民との協働のまちづくりの一環として、区民共通の財産である公園の管理や美化活動について、公園愛護会等の活動と連携して取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を活かした憩いの空間が形成されつつある。 ・多くの区民のふれあいの場として親しまれている。 ・公園愛護会の活動の充実と新規愛護会の設置 ・公園愛護会などと連携した公園利用のマナー向上に向けた取り組み
<p>2 港を活かしたまちづくり</p> <p>港と緑地を活用することにより、港の風を感じながら余暇を楽しむ、潤いと賑わいの空間を形成します。</p>	<p>山の下みなとランドの利用促進のため、パーゴラによる木かげの創出を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山の下みなとランドの魅力が向上し、区内外から多くの人が訪れている。 ・拡張整備に向けた関係機関との調整
IV 国内外に向けた交通基盤の整備		
<p>1 空港機能の強化、利用活性化</p> <p>関連機関などと連携を取りながら、空港周辺環境整備や国内外路線の開設・拡充、取扱貨物量の増加を図るとともに、利便性を高めるため、空港アクセスの強化を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・沖合展開を含めた拡充整備を関係機関に働きかけるとともに、官民一体となって利用促進に取り組んだ。 ・空港機能の強化を図るため、運用時間の延長に取り組むとともに、周辺環境対策も併せて強化した。 ・空港へのアクセス強化を図るため、新潟駅南口発着空港リムジンバスを運行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度には、新規路線開設や増便等により利用者数が8年ぶりに増加した。 ・運用時間の延長により空港の機能が強化された。
V 遊休地の有効活用		
<p>1 遊休地の整備と有効活用</p> <p>大規模な工場跡地などの遊休地を、民間の力などを活用しながら有効利用することにより、地域の活性化を図ります。</p>	<p>◆区役所庁舎の移転</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年9月に区のほぼ中央にあたる下木戸に移転した。区役所のほか、文化・交流施設、子育て支援施設、図書室、民間の商業施設を兼ね備えた複合施設となっている。 <p>◆警察署の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内への警察署設置のため、誘致に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の中心部に移転したことにより区の一体感醸成が図られ、様々な機能をもつことにより賑わいを創出している。 ・区役所の近隣遊休地に警察署の設置が決定した。